

# コレステロールの薬は副作用だらけ

LDLコレステロールが、基準値（誰が決めたの？）以上だと、スタチン系と言われる薬剤が処方されます。

## ■主な副作用■

横紋筋融解→急性腎不全、  
汎血球減少、  
血小板減少、  
間質性肺炎、  
重症筋無力症、  
脳梗塞、  
不眠症、  
甲状腺機能低下、  
ACTH増加(ステロイド産生)  
糖尿病発症、  
インポテンツ(テストステロン低下)、  
女性化乳房、  
肝での蛋白質生産低下（コリエステラーゼ低下）、  
末梢神経障害（しびれ・麻痺）  
うつ状態、  
認知症、  
自殺（甲状腺低下が原因？）など。

LDLコレステロールは、ホルモンの原料で、  
細胞の骨格（鉄筋）に必要なものです。  
透析学会も、栄養学会も、LDLコレステロールの低下は、  
生存率も低下するというデータです

大阪の”松本医院”の先生が、ブログに書いています。

[脂質異常症の治療薬（スタチン系薬）の危険性について（facebookより転載 2019-11-5） | 松本医院 \(matsumotoclinic.com\)](#)

